Tendo

News Release
2026/10/26
株式会社 天童木工

KOYORI
ミラノサローネ国際家具見本市2026で発表した新作コレクションを日本初披露



株式会社天童木工（本社：山形県天童市）は、日本のものづくりを結集したグローバルアライアンスブランド『KOYORI』の新作家具を日本で初披露します。
今回は新製品としてロナン＆エルワン・ブルレックによる Kawara アームチェアの座面張りタイプが加わり、よりゆとりと寛ぎを求める空間への提案が可能となりました。
また、新たなデザイナーとしてヴィンセント・ヴァン・ダイセンが参加。ミラノサローネでは建築的なアプローチを落とし込んだ「Hinode コレクション」（飛騨産業）を発表しました。
そのほかにもロナン・ブルレックによる「Ichirin チェア」（飛騨産業）、ガムフラテージによる「Kinomi サイドテーブル」（飛騨産業）などの新作に加え、既存のコレクションを展示します。
デザインスタジオ FLOOAT による、プロダクトを意識した空間構成にもご注目ください。

開催概要

KOYORI Collection 2026 Launch Exhibition in Japan

日時：2026年11月1日(日)－3日(火・祝) 11:00－19:00（最終日は17:00閉館）
会場：ヒルサイドテラス ギャラリーウエスト（東京都渋谷区鉢山町13-4 ヒルサイドウエストB棟 B1）
主催：KOYORI（飛騨産業株式会社／株式会社天童木工／株式会社マルニグローバルブランディング）
※入場無料

レセプション

日時：2026年10月31日(土) 18:00－19:30 予定
※入場無料、予約制。ご予約はURL、またはQRコードよりお願いいたします。

URL：https://ws.formzu.net/fgen/S378326102/

レセプションでは、KOYORIエグゼクティブ・ディレクターの神田宗俊氏と、アライアンスメーカーのデザイン室室長の中川輝彦氏より、新作誕生に至るまでのデザイナーとのやりとりや、商品化のプロセス、ものづくりや技術的特徴など、商品開発の裏側をお話しするトークイベントを開催します。

神田宗俊（こうだむねとし）

KOYORI のエグゼクティブ・ディレクター。国際貿易とブランディングのエキスパートとして、国産ブランドの販売拡大や展開に従事し、日本のクラフツマンシップの世界的な普及活動に貢献してきました。知識と経験により、日本のメーカーの販売網を 29 の国と地域、89 店舗に拡大した経験があります。日本の職人技を世界規模で継続的に推進することを目指しています。

中川輝彦（なかがわてるひこ）

飛驒産業株式会社取締役デザイン室室長。飛驒産業で長く木工家具デザインに従事してきました。また、フリーランスのデザイナーとの協業も多く、エンツォ・マーリをはじめ、柳宗理、柚木沙弥郎、隈研吾 等との家具づくりを実践してきました。「人を想う」「時を継ぐ」「技を磨く」「森と歩む」という 4 つの価値観をものづくりの指針として掲げて日本の木工文化の魅力拡大に努めています。

空間構成

FLOOAT, Inc.

2011 年に株式会社 FLOOAT を設立。専門分野の異なる 4 人のメンバーが中心となり、オフィス・商業空間・住宅プランニングや内装設計を軸に、プロモーションに関する企画やディレクションなど、東京を拠点に幅広くおこなっています。プロジェクトの本質への深い理解に基づいた豊かで居心地の良い空間、細部まで突き詰めたデザインで、長くそこに居たくなる上質な普通をつくりだすことを得意としています。

新製品

Kawara Armchair 座面張り

成形合板による立体的な三次曲面の背もたれと肘掛けが特徴の Kawara アームチェア。
背もたれ・肘掛け・座面の 3 つのパーツを個別に成形し、熟練の技術により精緻に組み上げられています。
今回ラインナップに加わった Kawara アームチェア・座面張りは、既存の板座と張座のハイブリッドタイプ。
クッションを座面のみとしたことで、軽やかな解放感と包み込まれるような安心感はそのままに、よりゆとりのある快適な座り心地となっています。
毎日の食事からデスクワークや会議まで、長い時間を過ごすシーンに寄り添う一脚です。



座面張り

W548 D531 H822
SH476 AH650 (mm)

本体
オーク柾目（NT/BB/BY/BG 色）

脚
オークムク材（NT/BB/BY/BG 色）

価格
K1 ： ¥198,000（税込）
K3 ： ¥204,600（税込）
K4 ： ¥206,800（税込）
K80： ¥242,000（税込）





KOYORI について

KOYORI は日本の優れたものづくりを行う企業がアライアンスを組むとともに、卓越した日本の技術と国際的なコンテンポラリーデザイナーが協働することにより、確かな品質を備えたボーダレスなデザインの家具とインテリアアクセサリーを提供することを目指したブランドです。無垢の曲木を得意とする飛騨産業と、成形合板を得意とする天童木工の 2 社が参画しています。和紙によりをかけて紐状にする「紙縒（こより）」から取ったブランド名の KOYORI。紙縒は古くから日本でのお祝い事に欠かせない水引の素材であり、ブランド名には結びつきの意味も込められています。

受賞歴：Best Seats Category of Wallpaper* Design Awards 2023、Best New Brand, MONOCLE
ノミネーション：Best seat for EDIDA 2023

サステナビリティ

KOYORI では、カーボンフットプリントの透明性を確立するための第一歩として、製品から発生する CO_2排出量を継続的に測定し、その結果を公式サイトで公開しています。排出量の算定には、製品単位での CO_2排出量を可視化する独立したツール「The 2030 Calculator」を使用しています。測定された CO_2排出量について、KOYORI は 2022 年以降、製造プロセスで発生する排出量を毎年オフセットしています。この取り組みは、日本のミュージシャンである故・坂本龍一氏が設立した森林保全団体 More Trees を通じて行われ、企業活動によって排出された CO_2 は「More Trees の森」によって吸収・相殺されます。オフセットによって購入されたクレジットは、森林の再生や保全活動に活用されています。

KOYORI は、日本のクラフトマンシップが持つ美しさや創造性、真正性を国際市場へ伝えていくことを大切にしています。長く使い続けられる商品づくりに加え、製造から輸送に至るプロセスまでを見据え、透明性のある持続可能なものづくりに取り組んでいます。そうした考えのもと、2025 年には国際輸送によって発生する CO_2排出量についてもオフセットの対象に含めました。KOYORI は今後も、製品のライフサイクル全体を見据えた取り組みを重ねていきます。

デザイナー

Ronan & Erwan Bouroullec（ロナン＆エルワン・ブルレック）



1971 年と 1976 年にそれぞれカンペール（ブルターニュ）で生まれたフランス人の兄弟デザイナー、ロナンとエルワン・ブルレックは、1999 年から協働しています。工業デザインから工芸品、大規模な生産開発から研究、オブジェクトから公共スペースまで、ロナンとエルワンの作品は複数の表現分野にまたがり、私たちの日常生活に取り入れられています。

Photography: Alexandre Tabaste

GamFratesi（ガムフラテージ）



ガムフラテージスタジオは、デンマークの建築家スティーネ・ガム（Stine Gam）とイタリアの建築家エンリコ・フラテージ（Enrico Fratesi）によって 2006 年に設立されました。スタジオはコペンハーゲンを拠点としています。ガムフラテージのデザインは、伝統と革新の融合から、素材と技術への実験的なアプローチで創造力を発揮します。

Photography: Petra Kleis

Michael Anastassiades （マイケル・アナスタシアデス）



マイケル・アナスタシアデスはロンドンを拠点とするキプロス出身のデザイナーです。1994年に彼自身のスタジオを設立し、2007年にブランドを立ち上げました。照明、家具、オブジェ、空間デザインを手がける彼のデザインは、素材に真摯に向き合い、形の親しみやすさ、そして明確な機能性が特徴です。彼のデザインは、規律と拘りがありながらも、時に予想外の生き生きとした遊び心があります。

Photography: Ben Murphy

Vincent Van Duysen （ヴィンセント・ヴァン・ダイセン）



1962年ベルギー・ロケレン生まれ。ヘントのシント＝ルーカス建築学校で建築を学び、ミラノではアルド・チビック、アントワープではジャン・ドゥ・モルデルと協働した後、1989年にVincent Van Duysen Architectsを設立。現在は約40名のメンバーとともに、建築、インテリア、プロダクトデザイン、クリエイティブディレクションまで幅広く手がけ、純粋な素材使いと時代に左右されない美意識、感覚的な体験を重視したデザインで知られています。

Photography: Tosh Shintani (SHIKI)

■お問い合わせ先　株式会社 天童木工
広報担当　加藤 直樹
〒105-0013 東京都港区浜松町 1-19-2
TEL：0120-24-0401　E-mail：kato.n@tendo-mokko.co.jp
URL：https://www.tendo-mokko.co.jp/